

町予算の執行状況

歳入

収入済額 17億1,328万6千円 〈現年度分〉 15億8,688万0千円  
 〈繰越明許費〉 1億2,640万6千円

歳入科目		予算額	収入済額	収入率
現年度分	自主財源	町税	1億6,122万7千円	69.22%
		分担金及び負担金	2,425万3千円	20.78%
		使用料及び手数料	4,311万1千円	48.86%
		その他	2億5,916万9千円	80.46%
		計	4億8,776万0千円	70.98%
現年度分	依存財源	地方交付税	16億7,100万0千円	70.81%
		国・道支出金	3億6,291万4千円	7.13%
		町債	3億7,270万0千円	0.00%
		その他	5,392万0千円	58.51%
		計	24億6,053万4千円	50.42%
小計		29億4,829万4千円	15億8,688万0千円	53.82%
繰越明許費		1億3,663万8千円	1億2,640万6千円	92.51%
合計		30億8,493万2千円	17億1,328万6千円	55.54%

歳出

支出済額 10億238万0千円 〈現年度分〉 9億6,996万0千円  
 〈繰越明許費〉 3,242万0千円

歳出科目		予算額	支出済額	執行率
現年度分	議会費	6,107万1千円	2,771万2千円	45.38%
	総務費	9億96万0千円	1億9,571万3千円	21.72%
	民生費	4億6,902万1千円	1億9,493万9千円	41.56%
	衛生費	1億4,827万4千円	5,471万6千円	36.90%
	労働費	935万3千円	385万3千円	41.20%
	農林水産業費	1億7,951万6千円	4,019万8千円	22.39%
	商工費	7,517万6千円	4,110万6千円	54.68%
	土木費	3億8,306万0千円	6,461万4千円	16.87%
	消防費	1億8,192万3千円	9,942万3千円	54.65%
	教育費	2億33万6千円	7,872万6千円	39.30%
	災害復旧費	11万5千円	1万0千円	8.70%
	公債費	3億3,788万9千円	1億6,884万4千円	49.97%
	諸支出金	60万0千円	10万6千円	17.67%
予備費	100万0千円	0円	0.00%	
小計		29億4,829万4千円	9億6,996万0千円	32.90%
繰越明許費		1億3,663万8千円	3,242万0千円	23.73%
合計		30億8,493万2千円	10億238万0千円	32.49%

平成28年度上半期（4月1日～9月30日）の町予算の執行状況をお知らせします。  
 皆さんが納めた税金や国や道からの交付金などがどのように出入りしているかについて、町の財政状況を正しく理解してもらうために公表するものです。

特別会計

特定の事業を行うため、条例等に基づいて設置するもので、一般会計の歳入・歳出と区分して経理するための会計です。

会計別	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	
簡易水道事業	1億7,990万7千円	2,522万6千円	14.02%	7,403万1千円	41.15%	
国民健康保険事業	事業勘定	1億8,951万1千円	3,565万5千円	18.81%	9,920万1千円	52.35%
	直診勘定	7,618万7千円	1,318万6千円	17.31%	2,061万1千円	27.05%
下水道事業	6,092万1千円	498万8千円	8.19%	2,379万0千円	39.05%	
介護福祉サービス事業	3,958万7千円	721万8千円	18.23%	1,287万6千円	32.53%	
産業交流雇用対策推進事業	1億2,594万5千円	6,142万5千円	48.77%	4,627万0千円	36.74%	
後期高齢者医療	3,778万3千円	965万8千円	25.56%	1,024万4千円	27.11%	
合計	7億984万1千円	1億5,735万6千円	22.17%	2億8,702万3千円	40.43%	

# まちの日記帳



## 家族の歓声に包まれて

びくに・みなと保育所生活発表会

11/19

12/11

びくに保育所で39回目、みなと保育所で22回目となる生活発表会が11月19日、12月11日にそれぞれ行われました。

日頃の園内での生活の一部を披露する生活発表会には、お父さんやお母さん、地域の皆さんなど多くの観客が見守る中、園児たちは緊張しながらも遊戯や劇、合唱など一人ひとりが毎日の練習の成果を出し切っていました。

会場では園児たちに温かい拍手や声援が送られ、わが子の成長に顔をほころばせていました。



▲びくに保育所 (11月19日)



▶みなと保育所 (12月11日)

## “馬”が癒やしてくれる

初のホースセラピー勉強会

12/3

馬とのふれあいを通じて心身のバランスを整える「ホースセラピー」の効果を知らってもらうため、総合文化センターでホースセラピー勉強会が開かれ、町内外から15人が参加しました。

日本各地のほか海外でホースセラピー牧場を展開している、どさんこミュージゼ(株) 寄田勝彦氏を講師に迎えて行われた講演では、ホースセラピーの歴史や馬が人に与える癒やしの効果などが紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

参加者からは「積丹でぜひホースセラピーをやってほしい。」といった声が寄せられるなど、有意義な勉強会となりました。



## 空撮で業務の効率化を

ドローン (無人航空機) 研修会

12/6

石狩森林管理署が主催する北後志管内林務担当者向けのドローン研修会が開かれ、余市町や古平町、後志総合振興局森林室の職員など21人が参加しました。

実際の機体を目の前に、操縦方法や取扱規程などを学んだ後、B&G海洋センターでドローンの操縦を体験。参加者は初めて操縦するドローンの高い性能に歓声を上げながら、熱心に指導者の説明を聞いていました。

ドローンは林業だけでなく、防災や他の産業など幅広い業務での活用が期待できることから、今後も定期的な研修会で、活用の推進を図る予定です。



## 「やすらぎ」の皆さんに楽しいひとときを

美国婦人会・びくに保育所園児が慰問

12/7 12/8  
12/13 12/14

美国婦人会（魚屋友子会長）と、びくに保育所園児によるやすらぎへの慰問が4日間の日程で行われ、同施設入居者とデイサービス利用者が歌や踊りを楽しみました。

利用者の皆さんは、毎年この時期に行われる慰問活動を楽しみにされており、園児たちによる可愛い遊戯と婦人会の皆さんによる本格的な歌や舞踊が披露され、会場は手拍子を打ったり、時には声援を送ったりと、一体となって盛り上がりました。

同会の地域奉仕活動に感謝します。



## 積丹の魅力が集う

第28回積丹観光フォトコンテスト

12/8

観光協会が主催する第28回積丹観光フォトコンテストの審査が、審査委員長に久保田亜矢氏（全日本写真協会会員）を迎えて実施され、応募総数301点の中から準グランプリ2点を含む3賞27作品が選ばれました。今回はグランプリ作品の該当は無かったものの、審査委員の皆さんはレベルの高い応募作品の数々を一枚一枚じっくり審査していました。

今回のコンテストは「積丹の四季」部門、「あなたの思い出に残る積丹の風景」部門の2部門で実施され、道内外の多くの方々からご応募いただき、魅力溢れる積丹の風景を写した作品は、3月22日に札幌地下歩行空間で、過去の入賞作品とともに展示する予定です。



準グランプリ受賞作品（2点）

（左）「北西に神威岩発見」

木村 修さん（小樽市）

（下）「岩の奇礁」

矢部修治さん（札幌市）



## 漁業者自らの挑戦に期待！

平成28年度水産試験研究プラザ

12/14

北海道立総合研究機構中央水産試験場の主催で「平成28年度水産試験研究プラザ」が開催され、漁業者や関係団体職員約30人が学びました。

セミナーでは「積丹町で新たな二枚貝養殖！どうでしょう」として、幌武意漁港等で試験的に実施している漁港静穏域を活かしたアサリ等の養殖事業の紹介と、「簡易な藻場造成手法について」として「石詰め礁」といわれるコンブの種を付けた石材が入った網袋を漁場に投入し、ウニの餌となるコンブ藻場を回復する手法など、漁業者の皆さん自らが少ない経費で、つくり育てる漁業への挑戦に期待する解説に熱心な質問が出ていました。

